



東部図書館

鈴木 紅美

平成28年度入庁

Q 1 現在はどうな仕事をしていますか。また、現在の仕事のやりがいや魅力、印象に残っていることなどを教えてください。

東部図書館で、カウンター業務・調査相談・講座の開催など、県民の方に直接サービスを行う仕事をしています。また、展示や「調べ案内」などを作成することで、様々な資料を紹介する仕事も行っています。

色々な方と接する仕事なので大変なことも多いですが、探していた資料を見つけられて喜ぶ姿を見られると、やりがいを感じます。自分が紹介した資料を元に困り事を解決できたと言われた時には、司書になってよかったと実感しました。

Q 2 千葉県を志望した理由を教えてください。

自分が生まれ育ち愛着もある千葉県で、昔から大好きだった読書の楽しさを多くの人に広める仕事がしたいと考えたためです。

また、県という大きな行政区分で、課題解決支援や図書館支援、資料収集・保存などの幅広い業務内容を専門的に行えるということも、大きな魅力だと感じました。

Q 3 「司書」として働く上で、心がけていることや大切なことは何ですか？

図書館のカウンターに相談にいらっしゃった方の話をよく聞き、言いたいことをできるだけ正確に理解できるように心がけています。

図書館で調査の相談をしてくる方の中には、探している本や情報がとても曖昧なものだったり、そもそも自分が何を知りたいのか、わかっていないのかがわからないという方もたくさんいます。そのような場合でも、対話を通して質問の本質を探り、できるだけ希望に合った資料を見つけるお手伝いができるように気を付けています。

Q 4 今後どのように働いていきたいですか。目標や、取り組んでみたい仕事など教えてください。

図書館のカウンターでの直接サービスにとどまらず、市町村立図書館・学校の支援や資料収集・保存など、できるだけ幅広い業務を経験し、オールラウンダーとして働けるようになりたいです。

また、いずれは県立図書館だけではなく、議会図書室や保健医療大学の図書館といった様々な職場で研鑽を積み、そこで得たものを還元していきたいと考えています。

Q 5 受験生へ一言

本だけでなく人と接するのが好きで、好奇心旺盛な人にはもってこいの仕事です。一緒に新しい千葉県の図書館を作っていきましょう。

異動経歴

H28年採用 西部図書館

H31年 東部図書館

